



## スイッチとキーの説明



**電源オン・オフ/プリント/アイテムカウント/通貨換算スイッチ**：  
◆ **電源オフ**：電源をオフするときは「OFF」に戻します。



◆ **電源オン/プリントオフ**：印字しないで計算を行うときはこの位置に設定します。



◆ **電源オン/プリントオン**：印字しながら計算を行うときはこの位置に設定します。



◆ **アイテムカウント**：この位置に設定すると加減算で入力した全てのアイテム数( **[+]**、**[-]**、**[M±]**、**[M=]** を押した数)を自動的に集計します。**[#◇]**、**[✖]**、**[M◇]**、**[MX]** を押したあとに、アイテム数がロールペーパーの左端に最大3桁(999)まで印字されます。



◆ **通貨換算**：「CONV」に設定します。入力と演算結果は表示、印字ともにされます。



**小数点桁指定スイッチ**：演算結果の小数点以下の桁数を指定するスイッチです。指定位置は小数点以下0、1、2、3、4桁、F(浮動小数点)及び+ (アド・モード)です。



◆ **+ (アド・モード)**：加減算の置数の小数点位置を、自動的に小数点以下2桁に指定します。**[.]** を押す必要がなくドル計算などに便利です。



◆ **F(浮動小数点)**：小数部の桁数を指定せず、上位12桁以内の答えをそのまま表示、印字します。



**四捨五入切替えスイッチ**：演算の結果を求める時に、指定した小数桁の次の桁を四捨五入する場合は「5/4」に、切上げにする場合は「↑」に、切捨てにする場合は「↓」に設定してください。  
計算例：1.234 x 5.8 = 7.1572 ※小数点以下2桁指定

切上げ：1.234 **[X]** 5.8 **[=]** ( 7.16)  
四捨五入：1.234 **[X]** 5.8 **[=]** ( 7.16)  
切捨て：1.234 **[X]** 5.8 **[=]** ( 7.15)



**GT/税率・通貨レート設定スイッチ**：

◆ **グランドトータル**：今までの計算結果の累積(グランドトータル)を求めるときに使用します。スイッチが「ON」のときに**[GT]**を1回押すと総計(グランドトータル)の内容が呼び出され、2回続けて押すとグランドトータルメモリの内容がクリアされます。

◆ **税率/通貨レート**：税率や通貨レートを設定したり呼び出すときはこの位置に設定します。



**入力訂正/クリアキー**：入力した数値を訂正するキーです。誤って入力した直後にこのキーを押すと表示がクリアされるので、正しい数値を入力しなおすことができます。2回続けて押すと計算途中の内容を全てクリアします(メモリ計算の内容はクリアされません)。また、オートパワーオフモードに入っているときに、このキーを押すと電源オンの状態に復帰します。



**ノン・アドキー**：計算に直接関係のない数字(日付や整理番号など)を計算の途中に入れるときに使用します。



**サブ・トータルキー**：連続計算の中間計を求めるときに使用します。



**トータルキー**：加減算の演算結果を求めるときに使用します。



**イコールキー**：乗除算の演算結果を求めるときに使用します。



**メモリプラス/イコールキー**：数値または演算結果をメモリに加算するとき使用します。



**メモリマイナス/イコールキー**：数値または演算結果をメモリから引くときに使用します。



**メモリサブトータルキー**：メモリ計算の小計を呼び出すときに使用します(メモリ内容は消去されません)。



**メモリートータルキー**：メモリ計算の合計を呼び出し、同時にメモリ内容をクリアします。



**シフトキー**：表示された数値を1桁ずつ矢印の方向にずらし最下位をクリアするときに使用します。入力中は**[→]**のあとに続けて入力できるので、誤って入力したときに、1桁ずつ訂正することができます。



**紙送りキー**：ロールペーパーを連続的に送ります。

## オーバーフロー

以下のようなオーバーフローが起きたときは **[=]** を押し解除してください。

- ・オーバーフローサイン(E)が表示されたとき
- ・点線が印字され、すべてのキーの機能が動かなくなったとき(電子ロック)
- ・以降の置数および演算機能が停止したとき

※オーバーフローは次の場合に発生します。

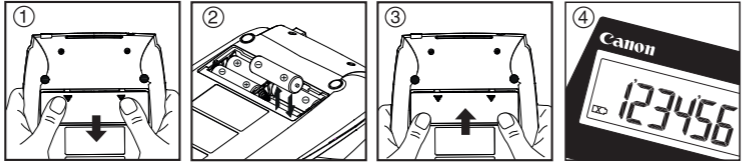
- (1) 演算結果またはメモリ内容の整数部が12桁を超えた場合
- (2) 除数が0の除算を行った場合
- (3) バッファレジスタの許容範囲を超えたとき(キー入力バッファオーバーフロー)

## 安全にお使いいただくために

- ※ 次の場所ではご使用にならないでください。
  - ・直射日光や暖房などによって高温になるところ
  - ・湿度変化の激しいところ
  - ・湿気、ごみ、ほこりの多いところ
  - ・鉄粉などの多いところ
- ※ プリンターには磁石類を使用していますので、クリップなどの金属片を内部に落とすことのないようご注意ください。
- ※ 本体が汚れたときは乾いた柔らかい布で汚れをふき取ってください。有機洗剤(シンナー、ベンジン)は絶対に使用しないでください。
- ※ ロールペーパーが取り付けられていない状態では印字しないでください。
- ※ 本機の上、特にプリンターの上には重いものを置かないでください。
- ※ 本体を分解しないでください。万一、異常が感じられたら、販売店またはキヤノンお客様相談センターにご相談ください。

## 電源

- 電池の入れ方(使用電池：単3形乾電池 x 4本)：電池交換の際には必ず電源を切ってください。
- 1) 本体裏面の電池カバーを矢印のほうに押し、取り外します。(図①)
- 2) 新しい電池を4本入れます。(図②)
- 3) 電池カバーを戻します。(図③)



**警告** ※電池を交換する際は、小さなお子様が悪く電池を口に入れないように手の届かない場所で行ってください。万一、飲み込んだ場合ただちに医師にご相談ください。  
※破裂や火災の原因になることがあります。  
・電池を充電したり分解しないでください。  
・電池を温度の高い場所に置いたり、直接加熱したり、焼却しないでください。

- **電池使用上のご注意**
- ・電池の極性(+、-)を間違えないように入れてください。電池の極性を間違えて入れると事故の原因となります。
- ・本機は電池残量が不足すると、画面に「[X]」アイコンが点灯し(図④)、表示部が薄く見えにくくなる、不規則な紙送りを、印字速度が極端に遅くなる等の現象が起こります。正常な動作を続けるために、電源を切り速やかに電池を交換してください。
- ・電池の残量が少なくなった状態で本機を使い続けると、誤操作が生じたり、保存したメモリが破損したり消えてしまったりすることがあります。大切なデータは常に書き留めるようにした上で、電池はできるだけ早く交換してください。
- ・電池はあまり使用しない場合でも少なくとも2年に1回は交換してください。
- ・液もれなどによる故障を防ぐため、長時間使用しないときや電池を使い切ったときは電池を取り出してください。
- ・使用済みの電池は、+極と-極をテープで絶縁してから、お住まいの地域の廃棄基準に従って廃棄してください。
- ・電池交換後は必ず本体裏面のRESETスイッチを押してください。またその際は日付、時刻、税率、通貨レートを再設定してください。
- ・本機はむだな電源消費を防ぐため、約7分間操作を行わないと自動的に表示が消えます(オートパワーオフ機能)。この場合は、ON **[CE]** を押しと再び表示が現れます。

- **ACアダプター(別売、AD-38II / AC-380III)で使用する場合**
- 本機は、乾電池のほかに別売のキヤノン専用ACアダプター(AD-38II / AC-380III)を用いて家庭用AC電源で使用することもできます。

**警告** 電源プラグを定期的には抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長時間差したままにすると、その周辺にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。本機はコンセントから近い場所でご使用ください。

- ACアダプター使用上のご注意**
- ・キヤノンAD-38II / AC-380III以外のアダプターのご使用は絶対におやめください。火災や故障の原因になります。
- ・必ず電源を切ってから、アダプターのプラグを本機のジャック部に差し込み、アダプターをコンセントに差し込みます。
- ・アダプターをコンセントまたはジャック部から抜くときも、電源を切ってから行ってください。
- ・乾電池でご使用になりたいときは、ACアダプターのプラグをジャック部から抜いてからご使用ください。プラグを差しした状態では電源を入れることができません。
- ・アダプターがコンセントに差し込まれていない、またはスイッチ付コンセントのスイッチが入っていない場合にアダプターのプラグをジャック部に差し込むと本機は電源オフし、日付、時刻、税率、通貨レートの設定はクリアされます。電源を入れ、これらを再設定すれば従来どおり使用できます。
- ・計算を始める前に、必ず ON **[CE]** を押してください。

- ! **本体裏面のRESETスイッチ**
- 計算中にすべてのキーが動かなくなるなどの異常が発生した場合は本体裏面のRESETスイッチを先端の細いもので押しってください。  
※リセット操作を行うと日付、時刻、税率、通貨レートはクリアされます。再設定してください。

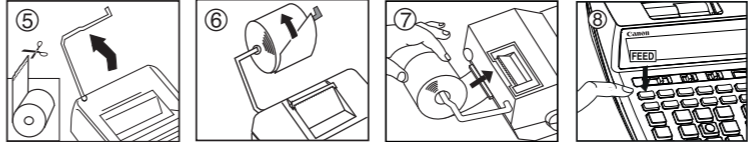
## ご使用の前に

- ・ご使用の前には本書および本書の「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
- ・内容をご理解の上正しくご使用ください。
- ・お読みになったあとも本書を大切に保管し、必要に応じてご利用ください。

## ロールペーパーの取り付け

- 1) プリンターカバーを取り外し、アームを外側に立てます。(図⑤)
  - ・ロールペーパーは図のように先頭を切ってから取り付けてください。
- 2) 矢印の向きにロールペーパーをアームに取り付けます。(図⑥)
- 3) ロールペーパーをペーパー挿入口に深く差し込みます。(図⑦)
- 4) プリンターカバーを戻し電源を入れた後、ロールペーパーがペーパーカッター部を通るまで **[FEED]** キーを押し続けます。(図⑧)

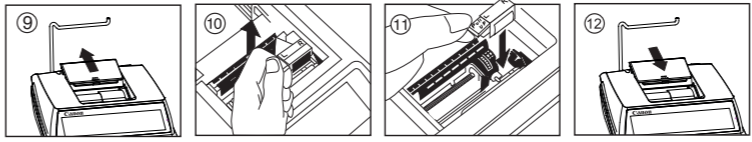
※ 使用ロールペーパー：普通紙 幅57-58mm、巻径 85mm以下



## インクローラーの交換

必ず電源を切ってからインクローラーを交換してください。

- 1) プリンターカバーを矢印の方向にスライドさせて取り外します。(図⑨)
  - 2) インクローラーの左側(PULL UPの文字がある部分)を持ち上げ、インクローラーを取り外します。(図⑩)
  - 3) 新しいインクローラーをはめ込みます。(図⑪)
  - 4) プリンターカバーを元の位置に戻します。(図⑫)
- ・ペーパーカッターには鋭い部分がありますので、けがをしないよう気をつけてください。
  - ・インクローラーはCP-13 II をご使用ください。
  - ・インクローラー使用の目安はロールペーパー 8巻ほどです。その前でも印字が薄くなってきた場合は新しいインクローラーに交換してください。
  - ・故障の原因となりますので、インクの注入はおやめください。



## 仕様

型式	：キヤノン P23-DTSC II
表示桁数	：液晶表示数字12桁
演算桁数	：置数、被演算数、演算数ともに12桁
印字桁数	：数字12桁、記号2桁、小数点1桁、3桁每位取りマーク
印字速度	：約2.0行/秒
印字	：赤青2色印刷

使用ロールペーパー：幅57-58mm、巻径85mm以下  
使用インクローラー：キヤノンCP-13 II 型

電源：単3形アルカリ乾電池 x 4本  
またはAC100-240V 50/60Hz 0.2A (別売り、AD-38II / AC-380III)

使用温度範囲：0℃～40℃  
外形寸法：230 mm (奥行) x 163 mm (幅) x 56 mm (高さ)  
重量：403g (本体のみ) / 472g (電池含む)  
付属品：単3形アルカリ乾電池 x 4本、インクローラー(CP-13 II) ロールペーパー1巻

- ・改良のため、予告なく仕様の変更を行うことがあります。

製品に関する情報はこちらでご確認いただけます。 キヤノン計算機ホームページ <a href="http://canon.jp/cal">canon.jp/cal</a>
---

- お問い合わせ窓口
  - キヤノンお客様相談センター 0570-04-0025
  - [受付時間] 平日・土 9:00 ~ 17:00
  - ナビダイヤル** 休業日：日・祝日、12月31日~1月3日
  - ※上記番号をご利用頂けない場合は、03-6634-4273をご利用ください。
  - ※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。
  - ※上記記載内容は、都合により予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。
- 2025年9月現在

**キヤノンマーケティングジャパン株式会社**  
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6 お問い合わせ先 0570-04-0025  
©CANON ELECTRONIC BUSINESS MACHINES (H.K.) CO., LTD. 2025 PRINTED IN CHINA

本機を廃棄する際は、地方自治体の条例に従って処理をするようお願い致します。詳しくは各地方自治体にお問い合わせください。

# 日付や時刻を設定しましょう

設定: DECIMAL ROUNding GT OFF ON CONV

日時表示切替キー: 日付と時刻の表示切替ができます。

12/24時間表示切替キー: 時計画面でこのキーを押すと時刻の12時間制表示と24時間制表示を切替えることができます。12時間制表示のとき、午前では「AM」を、午後では「PM」を表示します。

時刻/日付設定キー: 日付や時刻の入力を決定するときを使用します。

AM/PM設定キー: AM(午前)、PM(午後)の設定ができます。

フォーマットキー: 日付画面でこのキーを押すと、表示様式が切換えられます。「年/月/日」、「日/月/年」または「月/日/年」の中から選択します。

※次の場合日付、時刻、税率、通貨レートの設定はクリアされます。これらは再設定すれば従来どおりご使用できます。  
 (1) 電池使用中: アダプターがコンセントに差しこまれていない、またはスイッチ付コンセントのスイッチが入っていない場合にアダプターのプラグをジャック部に差しこんだ場合  
 (2) 電池使用中: 電池を交換した場合  
 (3) アダプター使用中: アダプターをコンセントから外す、またはスイッチ付コンセントのスイッチを切った場合

計算例	表示	印字表示
日付設定 (例: 2017年6月19日)	01-01-2016	....01-01-2016...
(3秒以上長押しします)	01-01-2016	
	06-19-2017	....06-19-2017...
(電卓モードに戻る)	0.	C
時刻設定 (例: 午後3時18分)	AM 12-00-18	....06-19-2017...
(電卓モードのとき)	AM 12-00	.....12-00.....
(3秒以上長押しします)	PM 03-18-00	.....03-18.....
(電卓モードに戻る)	0.	C

# 計算しましょう

この計算機は加算式なので、「5+8-2」などの計算は「5+8-2」と操作します。  
 ※加算式は主に記録式計算機で使用される方法で、伝票計算などに大変便利です。

- 計算を始める前に、必ず「CE」を押してください。
- 負数は赤字で印字表示されます。ここでは太字で表記しています。
- 計算の中間計、結果を表示する際に左側に印字される3桁の数字は、アイテムカウントです。加減算で入力したデータ数を自動的に集計します。
- スイッチ指定のない計算例は、全て「DECIMAL ROUNding GT OFF ON CONV」に設定してあります。

計算例	操作	印字表示
混合計算 -2+3x4-5=5	2 3 4 5	0. C -2.00 + 3. × 4. = 12.00 * 12.00 + 5.00 - 5.00 *
加減算の途中で乗除算の割り込み、またはその逆に乗除算の途中で加減算の割り込みができます。		
加減算の結果を求めます。		
3-5=-2	3 5	3.00 + 5.00 - -2.00 *
べき乗計算 3^3=27	3	3. × 3. = 9.00 * 9.00 = 27.00 *
入力修正 123x 756 (456) =56,088	123 756 456	123. × 456. × 56,088.00 *
123x 456 (6) =56,088	123 456 6	123. × 456. × 56,088.00 *
定数計算 300x2,145=643,500	300 2145	300. × 2,145 = 643,500.00 *
下線部が定数になります。		
300x4,950=1,485,000	4950	4,950.00 = 1,485,000.00 *

計算例	操作	印字表示
アド・モード計算 \$12.55+\$15.75-\$5.30 =\$23.00	1255 1575 530	0. C 12.55 + 15.75 + 5.30 - 23.00 *
小数点桁指定スイッチ (浮動小数点) 8÷3x3.7+9= 18.8666666666	8 3 3.7 9	8. ÷ 3. × 3.7 = 9. + 18.8666666666 *
逆数計算 1/7=0.14285714285	1 7	1. ÷ 7. = 0.143 *
切り捨て計算 11÷3=3.6666666666	11 3	11. ÷ 3. = 3.66 *
四捨五入計算 11÷3=3.6666666666	11 3	11. ÷ 3. = 3.67 *
切り上げ計算 11÷3=3.6666666666	11 3	11. ÷ 3. = 3.67 *
グランドトータル計算 500+103+32=635 +500+96+44 = 640 1,275	500 103 32 500 96 44	500.00 + 103.00 + 32.00 + 635.00 G+ 500.00 + 96.00 + 44.00 + 640.00 G+ 1,275.00 G◇ 1,275.00 G*
アイテムカウント計算 18 ..... 1) 14 ..... 2) +) 23 ..... 3) 55 - 20 ..... 4) +) 10 ..... 5) 45	18 14 23 55 20 10	18.00 + 14.00 + 23.00 + 55.00 ◇ 20.00 - 10.00 + 45.00 *
パーセント計算 2,000+(2,000x12%) =2,240 2,000-(2,000x15%) =1,700	2000 12 2000 15	2,000. × 12. % 240.00 * 2,240.00 + 2,000. × 15. % 300.00 * 1,700.00 -%
メモリ計算 125+78 = 203 -) 75+103 = 178 25	125 78 75 103	0. C 125. + 78. + 203.00 * 203.00 M+ 75.00 + 103.00 + 178.00 * 178.00 M- 25.00 M◇ 25.00 M*

計算例	操作	印字表示
通貨換算 通貨レート設定: スイッチを「GT」に合わせ、数値(通貨レート)を入力して「OFF ON RATE SET」から「C1」,「C2」または「C3」を押して保存します。 通貨レート確認: 「C1」,「C2」または「C3」を押して確認します。 通貨換算: 「\$」を押すと、表示されている数値を「C1」,「C2」または「C3」から「\$」へ換算します。「C1」,「C2」または「C3」を押すと、表示されている数値を「\$」から「C1」,「C2」または「C3」へ換算します。	0 8233 C1 0 5419 C2 107 08 C3	0. C 12.55 + 15.75 + 5.30 - 23.00 *
<通貨レート設定> \$ = 1 (USDドル) C1 = 0.8233 (ユーロ) C2 = 0.5419 (英ポンド) C3 = 107.08 (円)	0 8233 C1 0 5419 C2 107 08 C3	# 1 ----- 0.8233 C # 2 ----- 0.5419 C # 3 ----- 107.08 C
<通貨換算> ① 35 ユーロ = ? USDドル (42.51USDドル) ② 78 USDドル = ? 円 (8,352.24円) ③ 100 英ポンド = ? USDドル (184.54USDドル)	35 C1 78 C2 100 C3	0. C 35. # 1 ----- 0.8233 ◇ * 42.51 78. # 3 ----- 107.08 ◇ * 8,352.24 100. # 2 ----- 0.5419 ◇ * 184.54
※ USDドルへ換算される際途中結果に 対して小数点位置を指定する (小数点以下3桁指定の場合)	3 C1	# 0 ----- 3. C
④ 1,000 ユーロ = ? 英ポンド (=1,214.624USDドル = 658.2英ポンド)	1000 C1	0. C 1,000. # 1 ----- 0.8233 ◇ * 1,214.624 658.20 *
<通貨レート確認>	C1 C2 C3	# 1 ----- 0.8233 C # 2 ----- 0.5419 C # 3 ----- 107.08 C

※ 通貨レートは、1以上のときは6桁まで(12345.6など)、1より小さいときは8桁までの数値(0.1234567など)を設定できます。  
 ※ 次の場合日付、時刻、税率、通貨レートの設定はクリアされます。これらは再設定すれば従来どおりご使用できます。  
 (1) 電池使用中: アダプターがコンセントに差しこまれていない、またはスイッチ付コンセントのスイッチが入っていない場合にアダプターのプラグをジャック部に差しこんだ場合  
 (2) 電池使用中: 電池を交換した場合  
 (3) アダプター使用中: アダプターをコンセントから外す、またはスイッチ付コンセントのスイッチを切った場合

計算例	操作	印字表示
税率設定 税率の設定 (例: 10%に設定)	10 TAX+	10. △ %
<税込計算> 例: 税抜表示額1,000円の場合の税込額/税額を求めます。(税率は10%に設定)	1000 TAX+	1,000. △ + 10. % 100.00 △ 1,100.00 *
<税抜計算> 例: 税込表示額1,100円の場合の税抜額/税額を求めます。(税率は10%に設定)	1100 TAX-	1,100. △ - 10. % -100.00 △ 1,000.00 *
<税率の確認> (税率10%のとき)	TAX-	10. △ %

※ 税率設定のとき、8を入力すると8%、10を入力すると10%の税率を設定することができます。(任意の数字を入力して任意の税率が設定できます。)  
 ※ 次の場合日付、時刻、税率、通貨レートの設定はクリアされます。これらは再設定すれば従来どおりご使用できます。  
 (1) 電池使用中: アダプターがコンセントに差しこまれていない、またはスイッチ付コンセントのスイッチが入っていない場合にアダプターのプラグをジャック部に差しこんだ場合  
 (2) 電池使用中: 電池を交換した場合  
 (3) アダプター使用中: アダプターをコンセントから外す、またはスイッチ付コンセントのスイッチを切った場合

データ(日付や整理番号など)を入れた計算	操作	印字表示
2017年6月19日 1,860 1,420	6 19 2017 1860 1420	#6*19*2017----- 1,860.00 + 1,420.00 +
2017年6月20日 2,380 2,200 +) 2,200 7,860	6 20 2017 2380 2200	#6*20*2017----- 2,380.00 + 2,200.00 + 2,200.00 + 7,860.00 *

計算例	操作	印字表示
原価計算 売価: 2,000円 粗利率: 30% 原価 = ?(1,400円) 利益額: 600円	2000 SELL 30 MARGIN	2,000. ** 30. M% 1,400.00 C C 30. M% 600.00 M△
売価計算 原価: 1,500円 粗利率: 20% 売価 = ?(1,875円) 利益額: 375円	1500 COST 20 MARGIN	1,500. C C 20. M% 1,875.00 ** 20. M% 375.00 M△
粗利率計算 原価: 1,500円 売価: 2,000円 粗利率 = ?(25%) 利益額: 500円	1500 COST 2000 SELL	1,500. C C 2,000. ** 25.00 M% 500.00 M△

ダブルチェック機能

ダブルチェック機能では、1回目の計算手順を保存して、今回の計算手順が1回目と同じかどうか確認することができます。

入力モードキー: 1回目の計算を始めるときに押します(入力モード)。キーを押すと表示部に「CHE」が表示されます。

チェックモードキー: 今回の計算を始めるときに押します(チェックモード)。キーを押すと表示部に「CHE StArt」が表示されます。今回の計算手順が1回目と違った場合はそこで計算を終了します。

計算例: 400+280-78=602	操作	印字表示
<入力モード> (1回目の計算)	400 280 78	0. C * 400.00 + 280.00 + 78.00 - 602.00 *
<チェックモード> (今回の計算) (1) 今回の計算手順が1回目と同じ場合	400 280 78	..... (チェック開始) 400.00 + 280.00 + 78.00 - 602.00 *
(2) 今回の計算手順が1回目と違う場合 400+280-87=593と入力	400 280 87	..... (チェック開始) 400.00 + 280.00 + 87.00 - 593.00 *
(正しい入力の場合)		..... (チェック開始) 400.00 + 280.00 + 87.00 - 593.00 *
(入力ミスの場合)		..... (入力ミスのとき) 593.00 *

※ 入力モード(1回目の計算)とチェックモード(今回の計算)のスイッチ設定は同じ設定にしてください。設定が違う場合下のメッセージが印字されます。  
 \*\*001\*\* (小数点スイッチの設定が違っています。)  
 \*\*002\*\* (四捨五入スイッチの設定が違っています。)  
 ※ 入力モードに101回以上の計算手順があるとチェックモードへ移行することができません。この場合「E CHE St FULL」が表示されます。  
 ※ 入力モードで計算手順を保存して他の計算に移動するときは「MODE」を押します。この場合、..... が印字されます。チェックモードの途中で「MODE」を押すと計算を中止します。この場合 \*\*000\*\* が印字されます。

オーバーフロー	操作	印字表示
550000000000 x) 23 1265000000000 (オーバーフロー)	550000000000 X 23	550,000,000,000 × 23. = ..... * 12,650,000,000.00 * 0. C
6 ÷ 0 = 0 (オーバーフロー)	6 0	6. ÷ 0. = ..... * 0. * 0. C